

## 第2回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会 次第

日時：平成29年8月29日（火） 午後1時30分～

場所：市役所3階 32会議室

### 1 開会

### 2 議題

(1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組事業の評価等について  
(対象：平成28年度実施事業)

(2) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組拡充について

(3) その他

### 3 閉会

# 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の取組事業の 評価等について(対象:平成28年度実施事業)

# 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の取組事業の評価等について (対象:平成28年度実施事業)

## 1 評価の目的

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに基づく、事業の取組状況について、総合的な観点から検証・評価を実施することで、適切な進行管理を行う。

※ ビジョン掲載71事業のうち、次の8事業を除く63事業について評価を実施した。

- ・再掲(重複)事業 : 3事業
- ・29年度以降に実施する事業 : 4事業
- ・ビジョン対象外移行予定事業 : 1事業

## 2 評価の方法

取組事業ごとに、KPI(成果指標)を設定し、成果の達成度等について、連携中枢都市において評価を実施するとともに、連携市町においても一定の評価を行う。なお、この評価の結果については、外部の有識者で構成されるビジョン懇談会からも、意見・提案を受けるなかで、PDCAサイクルを回していく。

## 3 評価の基準

- (1) 連携中枢都市 KPIによる成果の達成度、妥当性、有効性、効率性から評価
- (2) 連携市町 成果の達成度、妥当性、有効性から評価

### 3 評価の基準

#### (1) 連携中枢都市

	評 価	点数	
		KPI設定 事業	KPI設定 対象外事業
成果の達成度	成果に対する達成度はどうだったか		
	評価対象年度の目標値に対する達成率	70×達成率	
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か		
	A 妥当である	10	10
	B 市民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	7	7
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	4	4
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか		
	A 貢献が大きい	10	10
	B 貢献が中程度／義務的事業	7	7
	C 貢献が小さい	4	4
	D 全く貢献していない	0	0
効率性評価	費用対効果はどうだったか		
	A 向上している	10	10
	B 同程度	7	7
	C 低下している	4	4
	D 10%以上低下している	0	0
総得点		100	30

#### (2) 連携市町

	評 価	点数
成果の達成度	A ビジョンの成果が達成されている等、十分成果があがっている	50
	B 成果があがっているが、更なる取組による成果向上の余地がある	35
	C 一定の成果があがっているが、課題もあり、更なる改善が必要である	28
	D 成果があがっていない、又は、未着手である	0
	— 評価できない	
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か	
	A 妥当である	25
	B 圏域住民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	18
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	14
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか	
	A 貢献が大きい	25
	B 貢献が中程度／義務的事業	18
	C 貢献が小さい	14
	D 全く貢献していない	0
総得点		100

得点率 (総得点の86%以上)	<b>A</b>
得点率 (総得点の71%以上86%未満)	<b>B</b>
得点率 (総得点の56%以上71%未満)	<b>C</b>
得点率 (総得点の56%未満)	<b>D</b>

上記評価基準により得点率を算出し、左表により分類

# 4 評価結果一覧(H28) (1/2)

連携協約項目			事業(取組)	高松市	連携市町評価							
					さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町	
1 圏域 全体 の経 済成 長のけ ん引	ア	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等、国の成長戦略実施のための体制整備	1 産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	A	A	A	A	A	B	B	A	
			イ	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	2 中小企業経営力強化事業	A			B	D		
					ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	3 ブランド農産物育成支援事業	A	B	B	B		
	イ	戦略的な観光施策	4 国内誘客促進事業	A	D	B	B	B	D	B	D	
			5 観光プロモーション事業	A	C	A	A	D	A	C	C	
			6 海外誘客促進事業	A	D	B	B	B	D	D	D	
			7 国内外観光客向け情報発信事業	A	D	B	B	B	D	D	C	
			8 瀬戸内国際芸術祭推進事業	A			A	A		D		
			9 新たな観光プランの企画、販売等	A	C	C	C	D	D	D	D	
			10 イベント交流の促進	A	D	B	B	B	A	D	C	
			11 テリパリーアーツ事業	A	B	D	C				D	
			12 文化芸術鑑賞等の機会の提供(劇団四季ミュージカル鑑賞)	A	B	D	A	A	A	A	A	
			13 観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	A	-	-	-	-	-	-	-	
2 高次 の都 市機 能の 集積・ 強化	ア	高度な医療サービスの提供	14 新病院整備事業	A	-	-	-	-	-	-	-	
			15 医療人材の確保・育成	A					A			
			16 医療職員の交流等	D	D		B	D	D		A	
	イ	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	17 ICカードを利用した公共交通利用促進事業	A	D		B	A	D		A	
			18 大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	A	B	A	B	D	D	D	C	
ウ	高等教育・研究開発の環境整備	19 産学官連携推進事業	A	D	A	C	D	D	D	B		
		20 高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業	A			C	D	D	D	D	C	
3 圏域 全体 の生 活関 連機 能サ ービ スの 向上	(ア) 地域医療		21 救急医療体制の確保	A					B	A	A	
			22 救急艇の活用	A			A	A		C		
			23 島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	A			A	A				
			24 遠隔医療ネットワークを使った連携	A	B		A	D	D		D	
			26 地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)広域利用事業	A							C	
	ア	生活機能の強化に係る政策分野	(イ) 介護	27 医療介護連携事業	A					B	D	
				28 地域包括支援センター運営事業	A			C	D	D		C
				29 認知症ケア推進事業	A			C	D	B		C
				30 地域ケア会議推進事業	C			C	D	A		D
				31 徘徊高齢者保護ネットワーク	A	B	B			D		D
			32 介護認定審査会事業	A					A	A	A	
			(ウ) 福祉	33 自立支援協議会運営事業	A					A	A	
				34 障害支援区分等審査会業務の連携	A					A	A	A
				35 ファミリーサポートセンター事業	A	C				B		B

# 4 評価結果一覧(H28) (2/2)

連携協約項目			事業(取組)	高松市	連携市町評価						
					さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
3	ア	(エ) 教育・文化・スポーツ	36 移動図書館巡回事業	A						A	
			37 読書推進ボランティア養成事業	B	D	B	C	D	C	C	D
			38 帰国児童等支援事業	A					D		D
			39 特別支援教育推進連携事業	A			C	D	D		D
			41 史跡・遺跡の調査研究及び発信	A	C	A	C				
			42 高松市埋蔵文化財センターの運営	A	D	B	C	D			C
			43 中学校総合体育大会等の連携	A					A	B	
			45 地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	B	D	B	A	B	D	B	B
			46 グリーン・ツーリズム等農業振興事業	A			C	A	B		
		48 生涯学習推進事業	B			C	D				
		49 男女共同参画センター学習研修事業	C			C	D			C	
		(カ) 災害対策	50 災害時相互応援協定	A	B	A	A	A	A	A	A
			51 香川県消防相互応援協定	A	B	A	A	A	A	A	A
			52 高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	A					A		A
			53 消防業務の事務委託	A					A		A
	54 地域防災対策事業		A						B		
	55 一般廃棄物の処理・処分に関する業務		A							A	
	(キ) 環境	56 し尿処理に関する業務	B					A		A	
		57 環境学習等推進事業	A	D	B	C	D	D	B	D	
		58 環境負荷の少ない自動車の普及促進	B	D	B	C	D	D	B	D	
		59 小型家電等リサイクル推進事業	D	B	B	C	C	B	A	A	
		60 不法投棄対策事業の推進	A	C	A	B	A	B	B	A	
		62 コミバス等へのI r u C a 導入事業	A	D		C	D	D		A	
	イ	(イ) 道路等の交通インフラの整備・維持	63 橋りょう改築修繕事業	B	A	A	C	D	B	C	C
			64 道路新設改良事業	B	A		C		B		C
		(エ) 地域内外の住民との交流・移住促進	66 自然体験等を通じた住民の交流の促進	A	B	B	C	B	D		D
	ウ	圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	67 移住・交流促進事業	A	D	B	B	A	B	C	B
68 人材育成事業、合同研修等の実施			A	C	A	B	A	A	B	A	
69 地域コミュニティ人材養成事業			B	C	B	C	D	B	B	B	

評価	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
A・B	93.7%	38.2%	89.3%	50.0%	46.2%	56.5%	54.5%	47.8%
C・D	6.3%	61.8%	10.7%	50.0%	53.8%	43.5%	45.5%	52.2%

## 5 評価の高い事業及び評価の低い事業

### 「評価の高い事業」

評価区分	事業（取組）
<p>全体的に評価が高い事業 （高松市、連携市の全てA又はB）</p> <p>（16事業）</p>	(1)産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等
	(15)医療人材の確保・育成
	(21)救急医療体制の確保
	(23)島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業
	(32)介護認定審査会事業
	(33)自立支援協議会運営事業
	(34)障害支援区分等審査会業務の連携
	(36)移動図書館巡回事業
	(43)中学校総合体育大会等の連携
	(50)災害時相互応援協定
	(51)香川県消防相互応援協定
	(52)高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
	(53)消防業務の事務委託
	(54)地域防災対策事業
	(55)一般廃棄物の処理・処分に関する業務
	(56)し尿処理に関する業務

### 「評価の低い事業」

評価区分	事業（取組）
<p>全体的に評価が低い施策 （高松市、連携市町合わせて 70%以上がC又はD）</p> <p>（7事業）</p>	(9)新たな観光プランの企画、販売等
	(20)高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業
	(28)地域包括支援センター運営事業
	(30)地域ケア会議推進事業
	(37)読書推進ボランティア養成事業
	(39)特別支援教育推進連携事業
	(49)男女共同参画センター学習研修事業

## 6 今後の取組

- ・今年から、事業毎に設定したKPI(成果指標)の達成度による、連携中枢都市圏ビジョンの的確な進捗管理を行う。

- ・なお、KPIについては、進行管理を行う中で、適宜(総合計画の成果指標の見直しに合わせて)、見直しを行う。

- ・外部の有識者で構成するビジョン懇談会や連携市町の評価・意見も参考にしながら、圏域の活性化に資する効果的な取組の拡充に努める。



瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料 2

差替

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）								H28年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	ビジョン最終年度目標 H35年度	連携市町評価							H28年度高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標達成度 H28年度	高松市			さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町				
ア	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等、国の成長戦略実施のための体制整備	1	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに掲載する圏域全体の経済成長のけん引分野の事業（取組）数	事業	13	14	13	92.9%	H35年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間前半の2年間で1事業を追加する。H28年度には、新規・拡充事業の検討を行ったが、当該分野に係る新規事業の追加には至らなかった。	17	A	A	A	A	A	B	B	A	産学金官民から選出された委員により構成する「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会」を設置した。 ビジョン懇談会を年間2回開催し、連携中枢都市圏ビジョンの新規・拡充事業について意見をいただいた。 ビジョン全体の事業数は新規1事業が加わり71事業となった。	【さぬき市】ビジョン懇談会に積極的に参加できた。 【東かがわ市】産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等が適正になされた。 【土庄町】産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等が適正になされた。 【小豆島町】懇談会が設置された。また、各連携市町からも委員が出ることにより、各市町の実情に応じた運営ができています。 【三木町】今後も産学金官民一体となって連携や交流をしていく必要がある。 【直島町】ビジョン策定懇談会など積極的に参加できた。 【綾川町】ビジョン策定懇談会など積極的に参加できた。
	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	2	中小企業経営力強化事業	講習会等受講者数	1年間に開催した講習会等の受講者数	人	2,108	2,325	2,198	94.5%	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっており、目標設定は総合計画と同数にしている（H26年度実績2,271人を現況値として毎年度25人程度増）。	2,500	A			B	D				H28年度は、「プレゼンテーションスキルアップセミナー」など、年16回の講習会を開催した。同じ事業費（共催負担金1,600千円）で前年度より講習会実施回数・受講者数とも増加しており、内容も中小企業等のニーズを的確にとらえて実施できた。	【土庄町】実績あり 【小豆島町】実績なし
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	3	ブランド農産物育成支援事業	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	9,183	9,300	9,010	96.9%	○H28年度の目標設定方法：H27年度実績からの増額を目標とした。 ○目標値に対する実績の理由：目標額には及ばなかったが、ほぼ前年並みの販売額となった。	10,000	A	B	B	B			D	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展の協力を得て地域の特産物のPR及び販売促進を図った。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から3団体の出展があり、多くの消費者の方に対して特産品のPR及び販売促進が図られた。 【東かがわ市】東かがわ市農作物トップセールスを実施したが、連携したPRには至っていない。 【土庄町】圏域と連携を図りつつ運営及び情報発信を行った点は評価。今後の継続的な展開について課題である。 【綾川町】実績なし。広域でパンフレットを作成する方が、紹介できる品目が多くなり魅力的なパンフレット作成が可能である。広域での特産品販売やイベントでの販売等も検討する必要がある。	
ウ	国内誘客促進事業	4	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,654	6,640	6,895	103.8%	【目標の設定方法】本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者の増加を図るもの。 【目標値に対する実績の理由】瀬戸内国際芸術祭が開催されたことにより、目標値及び昨年度よりも多くの方が、観光施設等を利用した。	6,640	A	D	B	B	B	D	B	D	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏への誘客を促進するため、高松空港と羽田空港を結ぶ定期航路を有する航空会社と連携し、プロモーションを展開した。 また 吉備S A、西宮名塩S A、宮島S Aの3箇所に本市の誘客型パンフレットを設置するとともに、香川県トラック協会の協力を得て、大型トラックのコンテナの背面に観光PRシールを掲出し、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のPRを行った。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】観光やイベント情報提供・発信により圏域の観光振興を図っている。引き続き圏域及び地域と連携し、観光振興に努めたい。 【小豆島町】こうべまつりにおいて、県・高松市・小豆島町でジャンボフェリーによる、関西圏からの誘客を進めるPR活動を共同で行い、誘客活動が図れた。 【三木町】観光客目線でのより良い情報発信に努めていく必要がある。 【直島町】違法駐車取り締まりや、イルミネーションの実施での受け入れ環境の整備が図られた。 【綾川町】実績なし。広域及び県とも連携した観光プロモーションであれば協力は可能であると考え。	
	観光プロモーション事業	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	C	A	A	D	A	C	C	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興を図るため、観光プロモーション事業を実施する選定事業者に、補助を行った。 実施5事業（応募38事業）	【さぬき市】協力体制についてのプランができていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】協力体制についてのプランができていない。 【綾川町】実績なし。広域及び県とも連携した観光プロモーションであれば協力は可能であると考え。	

連携協約項目	事業(取組)	K P I (成果指標)									連携市町評価							H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由			
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町		
1 圏域 全体の 経済 成長の けん引	Ⅰ 戦略的な観光施策	6	海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	210,470	260,000	356,730	137.2%	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。  【目標値に対する実績の理由】 H28年度中に高松空港に香港便が就航、ソウル便と上海便が増便したことにより、目標値よりも多くの外国人観光客が本市を訪れた。	700,000	A	D	B	B	B	D	D	D	高松空港と定期航路で結ばれた台北、上海、ソウル、香港からの観光客誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し、補助を行うとともに、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが実施する誘客事業に対し補助を行った。 平成28年の香川県の外国人延べ宿泊客数は356,730人泊(速報値)となっており、対前年比+69.5%は、全国1位の伸び率となっている。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていない。 【東かがわ市】香港との積極的な交流を展開し、市の交流人口の増加が図れたが、圏域全体での取組には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】インバウンド、特に中国、台湾、韓国を中心とした海外観光客は近年、増加の一途をたどり、圏域の観光業を中心とした経済効果は非常に高いと思われる。また、インバウンドに向けた外国語標記等の対策については今後も整備を強化する必要がある。 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】外国人観光客の増加を実感することができるが、協力体制についてのプランができていない。 【綾川町】実績なし。広域及び県とも連携した観光プロモーションであれば協力は可能であると考え。
		7	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,654	6,640	6,895	103.8%	【目標の設定方法】 本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者数の増加を図るもの。  【目標値に対する実績の理由】 瀬戸内国際芸術祭が開催されたことにより、目標値及び昨年度よりも多くの方が、観光施設等を利用した。	6,640	A	D	B	B	B	D	D	C	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン(着地型旅行商品)」の企画・販売事業を支援した。  コース数 12コース 参加者数 169名	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため。 【東かがわ市】市HP観光情報ページを高松市HPとリンクさせ、PRを行った。 【土庄町】特にインバウンド対策の整備を進めているが、その効果についての検証が十分に図れていない。 【小豆島町】国内観光客への情報提供はほぼ満足のいく発信ができていていると思うが、インバウンド対策は、瀬戸芸などで少しずつ整備が整ってきているが、まだまだ改善の余地がある。 【三木町】 【直島町】協力体制についてのプランができていないため。 【綾川町】観光協会ホームページを活用し、今後内外へ発信していく。広域の観光協会ホームページをリンクさせることで、エリアの情報を広くPRすることは可能であると考え。
		8	瀬戸内国際芸術祭推進事業	来場者数	高松市内の瀬戸内国際芸術祭来場者数	人	—	583,132	644,299	110.5%	瀬戸内国際芸術祭2013の来場者数を基に目標値を算出する。 会場毎に基準施設を設け、その来場者数を集計し、実績値とする。	644,000 (H31)	A			A	A		D	瀬戸内国際芸術祭2016の開催(H28.3.20~H28.11.6)。各種イベントの実施、屋島山上作品の設置・管理、高松市版総合ガイドブック「めぐると高松」の作成・配布等。 ■開催日数：108日間 ■来場者数：1,040,050人(内高松市内231,167人)	【土庄町】他県から観光客はもとより、国外からの来場者が増えた。瀬戸内国際芸術祭の知名度がより広く浸透している。 【小豆島町】多くの観光客が訪れることで瀬戸内の魅力をPRできてきている。また、地元住民がお接待や受付を行うことで、地域の魅力や自信を取り戻すきっかけとなっており、地域の魅力を向上する取組となっている。 【直島町】瀬戸内国際芸術祭の事業成果は大きいですが、協力体制についてのプランができていない。	
		9	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,654	6,640	6,895	103.8%	【目標の設定方法】 本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者数の増加を図るもの。  【目標値に対する実績の理由】 瀬戸内国際芸術祭が開催されたことにより、目標値及び昨年度よりも多くの方が、観光施設等を利用した。	6,640	A	C	C	C	D	D	D	D	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン(着地型旅行商品)」の企画・販売事業を支援した。  コース数 12コース 参加者数 169名	【さぬき市】ぶち旅プランに市内の施設が紹介され、一定の成果はあったが、協力体制についてのプランができていないため。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】特有の観光資源やイベント等を観光客誘致に活用しているが、もう一つの役割である高松観光コンベンション・ビューローの賛助会員等として、同財団の実施する企画・販売事業の支援ができていない状況であり、その支援方法等どのような形で連携できるかが課題である。 【小豆島町】実績なし 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】協力体制についてのプランができていない。 【綾川町】実績なし。
		10	イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	1,283,962	1,346,200	1,230,385	91.4%	【目標の設定方法】 本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、まつり・イベント集客数増加に繋げる。  【目標値に対する実績の理由】 高松まつりが記念大会であった前年度入込客数を上回ることができなかった。	1,373,200	A	D	B	B	B	A	D	C	魅力ある観光イベントの振興・活性化や観光客の誘致促進のため、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の代表するイベントである高松まつりなどに、補助を行った。  イベント補助件数 14件	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため。 【東かがわ市】圏域内に「引田ひなまつり」や「風の港まつり」などのイベント周知宣伝活動を行った。 【土庄町】観光やイベント情報提供・発信により圏域の観光振興を図っている。引き続き圏域及び地域と連携し、観光振興に努めたい。 【小豆島町】圏域全体で観光振興を行うことで、全体のPRにつながる。 【三木町】地域の魅力や知名度アップによる観光客誘致等の経済波及効果が期待される。 【直島町】協力体制についてのプランができていないため。 【綾川町】本町で開催のイベントの周知や広域でのイベントの周知や特産品の販売などを新たに出来たHPにおいてPRしていく必要がある。

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）									連携市町評価						H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
	11	デリバリー アーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力 団体の提供場所の規模 により、鑑賞者数に偏り があるため、鑑賞者数で は判断し難い。限られ た予算の中で、公演の質 の維持と事業を継続して いくことを重点に実施す る。	人	1,540	1,800	1,657	92.1%	事務事業評価と合わせた鑑賞 者数で目標設定を行う。 コミュニティセンターなどの大規模 な場所よりも老人福祉施設など 小規模な場所での開催が増えて いるため、鑑賞者数が目標値に 達成しなかったが、開催した団体 からは好評であるため再度実施 したいという要望が多く、満足度 は高いといえる。市民の身近なと ころで文化芸術に触れる機会を 提供するという事業目的も達成 している。	2,500	A	B	D	C				■開催回数：全16回（内さぬき市1回） ■鑑賞者数：1,657人（内さぬき市100人） 落語、アンサンブル演奏、和太鼓、金管五重奏、 影絵劇、トルンコンサート6メニューで実施。 連携市町に呼びかけ、さぬき市でも実施した。 前年度よりも鑑賞者が117人増えたとともに、開催 した団体から好評であり、再度実施したいという要 望が多く、満足度が高いといえる。	【さぬき市】出前講座を行ったが取組メニューについて柔軟に対応する必要がある。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【綾川町】実績なし
		12-1	文化芸術鑑 賞等の機会 の提供（劇 団四季ミュー ジカル鑑 賞）	鑑賞者数	児童、先生を合わせた鑑 賞者数（連携市町含む） 高松市と連携市町の全6 年生を招待しているため、 児童数と引率教員数が鑑 賞者数となる。平成25年 ～27年の平均鑑賞者数 を基に目標比を算出す る。 （H25:4,985人、 H26：5,323人、 H27：5,143人）	人	5,143	5,150	5,303	103.0%	H25年～27年の平均鑑賞者数 を基に目標値を算出する。 児童数と引率教員の合計数がそ のまま鑑賞者数となるため、その 年の児童数の増減による。	5,300	A	B	D	A	A	A	A	高松市・さぬき市・土庄町・小豆島町・三木町・直 島町・綾川町の全6年生の児童と引率教員が参 加。 【さぬき市】演目の設定から劇中の言葉や動作に人権教育配慮を要する部分がある。また、対象 となる児童が第6学年だけであり、中学生まで対象とした事業展開の余地があるとして判断した。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】圏内市町の小学校との連携体制ができており、毎年継続的に効果的な運営がなされ ている。 【小豆島町】通常の授業ではふれあうことのできない文化芸術（ミュージカル）を鑑賞することで、 コミュニケーション能力及び情操教育の向上につながっている。 【三木町】鑑賞機会が少ない児童にとって貴重な体験となり、情操教育の一助となっている。 【直島町】圏域内の小学校との連携が密にできているだけでなく、実施体制が確立されており、毎 年スムーズな運営ができています。 【綾川町】町単独では、この規模の事業を実施するための十分な施設を有しておらず、管内の児 童に芸術鑑賞の機会の提供をすることが難しいが、本事業により、多くの児童に芸術鑑賞の機会 を提供することが可能となっている。
		12-2	文化芸術鑑 賞等の機会 の提供（美 術館学習）	校数	参加校数	校	—	—	—	—	—	35	H 29 年 度 以 降 実 施							—
		13	観光バリアフ リーのための UDマップ作 成・活用事 業	UDマップ掲 載HP閲覧 数	連携中枢都市圏のHPに UDマップを掲載する予定 のため、掲載後のHP開 覧者数をKPIとする	件	—	—	—	—	—	—	A	—	—	—	—	—	—	UDマップの作成について、県と協議を行い、県との 連携を模索した。
高次の 都市 機能の 集積・ 強化	高度な医療サービスの 提供	14	新病院整備 事業	建設工事の 進捗率	年度ごとの建設（新築・ 機械・電気）工事の進 捗率が計画どおり行われ ているか確認するもの	%	0.2	17.2	14.9	86.6%	H28年度目標設定方法は、総 事業費に対する年度別事業費 で算出しています。 H28年度の目標値に対する実 績の理由は、H28年度決算額 に基づき算出したものです。	100	A	—	—	—	—	—	【新病院】 ① 建設工事 ② 駐車場整備工事等 ③ 医療機器等導入計画策定 ④ 埋蔵文化財発掘調査 【附属医療施設】 ⑤ 不動産鑑定料	—
		15	医療人材の 確保・育成	看護師等 養成所卒 業生の資格 取得率	看護師等養成所の運営 に対して助成を行い、卒 業生の資格取得率の向 上を図ることで、新たな医 療人材の確保を達成す る。	%	96.5	100	100	100.0%	H28年度から最終年度まで同じ 目標値を設定しており、H28年 度は卒業生全てが資格を取得 することができた。	100	A					A	看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会 看護専門学校、木田地区医師会附属看護学 院）の運営費の一部を助成することにより、医療 人材の確保を図った。	【三木町】准看護師の育成に寄与している。
		16	医療職員の 交流等	地域医療 連携カンファ レンス・セミ ナーにおける 市外参加 者数	地域の連携医療機関の 医師との医療連携を進 めるため、地域医療連携 カンファレンス・セミナーを 開催し連携強化に努め る	人	10	12	1	8.3%	H27年度と比較して16人（年 2人程度）増やす	26	D	D	B	D	D	A	院外で講師を招聘し、地域医療連携カンファレンス 開催 H28.6月 徳島大学大学院医歯薬学 研究部 運動機能 外化学 西良教授（参加者125人）	【さぬき市】さぬき市民病院からは、本事業に参加できなかったため評価は難しい。 【土庄町】平成28年度から土庄中央病院が閉院になり、小豆島中央病院企業団が 設立され、小豆島中央病院が開院しており、医療職員の交流について把握できていな いため評価が難しい。 【小豆島町】評価できない。 【三木町】取り組みがないため評価できない。 【綾川町】医療職員の医療連携を進めるための地域医療連携カンファレンスを開催し、 連携強化に努めている。
17	I Cカードを 利用した公 共交通利用 促進事業	公共交通 利用促進 事業実施 自治体数	取組の目的は、I Cカード 「I r u C a」を利用した 公共交通利用促進事業を 拡大することにより、公共交 通の利便性を向上し、利用 の促進を図るものであり、施 策の参加自治体を増やす。	自治 体	1	1	1	100.0%	H28年度は、連携自治体に対 し、事業の有効性等について周 知する段階と位置づけ、新たな 参加については次年度以降と考 え目標を設定した。	4	A	D	B	A	D	A	連携自治体に対し、事業の有効性等について周 知し参加を呼び掛けた。 綾川町が参加に理解を示し、29年度の導入に ついて前向きに検討してくれることとなった。	【さぬき市】実施していない。 【土庄町】さらなる利用拡大・促進を行っていく必要があるため。 【小豆島町】小豆島オーブバスだけでなく、町営バスの導入も既に行っている 【三木町】取り組みがないため評価なし 【綾川町】平成29年度からの事業実施に向けて十分協議ができています。		

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）									連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
ウ 高等教育・研究開発 の環境整備	18 大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	93	95	94	98.9%	年間4事業ずつ連携事業を増やし、平成35年度までに130事業を目指す。 連携事業は94事業となり、概ねH28年度の目標は概ね達成した。	130	A	B	A	B	D	D	D	C	若者に選ばれる大学づくり・まちづくりをテーマとして、市長と県内大学の学長との懇談会の開催により意見交換を行った。 香川大学と自治体の連携により、地域を志向する教育の実施を目的としたCOC事業をはじめ、県内大学と75の連携事業を実施した。	【さぬき市】職員的能力向上を図れることから一定の成果はある。 【東かがわ市】本市と香川大学との域学連携事業を実施しているが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】今後協力する可能性がある。 【三木町】香川大学と包括的連携協定を締結(H28)したこともあり、今後、香川大学をはじめ大学等との連携を強化していく。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】大学との連携はできているが、本町での実績がない。
	19 産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	111	116	112	96.6%	大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業との連携事業数（H27年度18事業から年間1事業ずつ増加）の合計	156	A	D	A	C	D	D	D	B	包括協定を締結している金融機関等の連携協力事業数は10事業であった。	【さぬき市】圏域内の大学が連携し課題解決のため調査研究を行うことは非常に意義があると思われるが、取組が進んでいない。 【東かがわ市】本市と香川大学との域学連携事業を実施しているが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組に関して今後も大学等との連携や交流を模索していく必要がある。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】高松市は、圏域内大学等と連携が十分取れているが、連携事業の実施に至っていない。
(ア) 地域医療	20 高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業	紹介率・逆紹介率（市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	紹介率 59% 逆紹介率 90%	紹介率 50%以上 逆紹介率 70%以上	紹介率 61% 逆紹介率 79%	100.0%	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上	紹介率 50%以上 逆紹介率 70%以上	A		C	D	D	D	C	高松市立病院の医療機能を発揮・活用するために、当院の地域医療連携室において、患者の紹介・逆紹介等地域医療連携に取り組み、紹介率61%、逆紹介率79%となった。	【土庄町】病診連携により、連携町からの患者を受け入れやすくなることは評価できるが、紹介率、逆紹介率に関しては、連携町として評価しにくい。 【小豆島町】実績なし 【三木町】町立の医療機関を有せず、直接的な取り組みを行っている状況ではないことから、評価をすることが困難である。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】綾上診療所は、高松市民病院へ十分に紹介できていない。	
	21 救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	40.3	40.9	42.4	103.7%	平成28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。 平成28年度市民満足度調査の結果において42.4%であった。	45.3	A				B	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急体制の確保を図った。	【三木町】今後も関係市町と連携し、住民が安心して医療を受けられるよう継続して支援をしていく必要がある。 【直島町】救急体制を確保するために十分な支援が行っている。 【綾川町】休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図っていることで、住民が安心して暮らすことのできる環境づくりが確保されている。	
	22 救急艇の活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A		A	A		C		搬送実績 土庄町：35件 小豆島町：20件	【土庄町】救急艇の活用について連携していることで、救急搬送体制の強化につながっており、成果をあげているが、当町における医療従事者不足による搬送時の負担等課題がある。 【小豆島町】小豆島構想区域内で定期航路の無い夜間に発生した小豆島中央病院で対応できない高度医療が必要な救急患者について、高松市との連携において実施する救急艇を用いた島外搬送で、医療連携として重要な事業である。 【直島町】当町においても救急患者を輸送する船を所有しており、活用実績がない。	
	23 島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件	12	12	12	100.0%	高松市民病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	24	A		A	A					高松市民病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院（小豆島中央病院）に派遣し、小豆島における医療水準の維持・向上に貢献した。	【土庄町】医師の派遣に関する協定に基づく派遣が行われている。 【小豆島町】医師派遣が実施されている。
24 遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	101	50	45	90.0%	地域の医療機関全てが、ネットワークに参画していないこと、また、利用する機会も限られることから、目標に達しなかった。	400	A	B	A	D	D		D		開業医訪問等を実施する中で、必要に応じて、K-MIXの利用促進を図っている。	【さぬき市】救急対応時の手続きの簡素化により、他の医療機関の医療情報を参照するという連携は強化され、一定の成果は上がっているが、救急患者以外の利用における患者への説明と同意等の手続きが煩雑であることから、利用件数は伸びていない。 【土庄町】救急対応時の手続きの簡素化により、他の医療機関の医療情報を参照するという連携は強化され、一定の成果は上がっている。 【小豆島町】公開件数把握できていないため、評価できない。 【三木町】町立の医療機関を有せず、直接的な取り組みを行っている状況ではないことから、評価をすることが困難である。 【綾川町】綾上診療所は、K-MIXのネットワークに参画しているが、まだ利用できていない。	

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）										連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由	
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	連携市町					綾 川 町			
												さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町				直 島 町
3 圏域 全体の 生活 関連 機能 サー ビスの 向上 ア 生活機 能の強 化に係 る政 策分 野  (イ)介護	25	「地域包括 ケア病棟」設 置事業	地域包括ケ ア病棟開設	地域包括ケアシステムの 中で、その一翼を担うた め、地域包括ケア病棟の 開設し、患者の在宅復 帰支援を行う。（在宅 復帰率）	%	—	—	—	—	—	70	H 29 年度 以降に 実施	—	—	—	—	—	—	地域包括ケア病棟の開設に向けた準備を進めた。	
	26	地域密着型 サービス（認 知症対応型 共同生活介 護）広域利 用事業	当該事業 所周知率	当該サービス事業者の指 導・監督権限を有するた め周知を行った割合	%	100	100	100	100.0%	当該サービス事業者の指導・監 督権限を有する施設を目標値と し、周知を行った件数を実績とし た。	100	A					C	高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制 限に関する要綱において、本市域内の地域密着 型サービス（認知症対応型共同生活介護）につ いては、原則、本市転入後6ヶ月を経過しない者 の利用又は入居はできないが、当該サービス事業 所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過 していても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】受入れ態勢は整いつつある。	
	27	医療介護連 携事業	多職種連 携構築度 評価平均 得点	多職種連携研修等に参 加している専門職によ る、地域の多職種連携 構築度評価の平均得点 （最高10点、最低0 点）	点	—	—	4.0	—	H28年度より設定した値のため、 参考値として実績値のみ記載す る。	10	A					B D	平成30年度までに実施する必要のある、在宅医 療・介護連携推進事業の8事業項目において、 H28年度に新規に取り組んだ下記の事業を含め て、全ての事業に取り組むことができた。 ○在宅ケア便利帳の作成 ○在宅医療と介護に関する市民公開講座の開催 ○同一医療圏（三木・直島）関係者会の開催	【三木町】H28年度に在宅医療・介護連携推進協議会が発足し、一定の成果は上 がっているが、今後協議を重ね、取り組みを広げていく必要がある。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。	
	28	地域包括支 援センター運 営事業	自立高齢 者率	介護・支援を必要として いない65歳以上の高 齢者の割合（%）	%	78.9	78.4	78.4	100.0%	H27年度よりビジョン最終年度 （H35年度）に目標を達成す るために8年計画にて算出した。	74.6	A			C	D	D	C	新しい総合事業におけるケアマネジメントについて、 必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】圏域内の市町において情報交換をし、ノウハウの共有や連携することは重要 であるが、意見交換会という形式での実施はなかった。 【綾川町】地域包括支援センターとしての広域的な連携が十分にはできていない。
	29	認知症ケア 推進事業	認知症サ ポーター数 （累計）	認知症サポーター養成講 座の受講人数（人）	人	34,279	34,000	38,844	114.2%	住民に対して、認知症に対する 理解を周知啓発している。	56,700	A			C	D	B	C	認知症初期集中支援チーム及び認知症カフェ等 の設置について、必要に応じて圏域内自治体と情 報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】認知症サポーター養成講座の受講者は年度によるばらつきはあるものの、地 域に認知症の理解者が確実に増えていることは、大切であり、取り組みをさらに継続し ていく必要がある。 【綾川町】広域的な連携は無く、認知症サポーターの活動に関する情報交換等の機会 も無い。
	30	地域ケア会 議推進事業	地域課題を 解決するた めの取組を している地 区数	地域ケア小会議（地域 福祉ネットワーク会議） において、地域課題を解 決するための取組をして いる地区数（地区）	地区	4	48	28	58.3%	高齢者保健福祉計画にて目標 値を設定している。44コミュニ ティすべてに地域福祉ネットワ ーク会議開催を働きかけているが、地域 の状況が異なるため目標値を下 回った。	48	C			C	D	A	D	地域ケア小会議（地域課題）の設置運営方法 について、必要に応じて圏域内自治体と情報交換 を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】さまざまな地域課題を解決するため必要なスキルアップと情報共有することに 有用な機会である。 【綾川町】地域ケア会議の中で議論されたことが、施策等に反映さえるような検討がま だなされていない。市町を超えた広域的な支援対策も不十分である。
	31	徘徊高齢者 保護ネット ワーク	徘徊高齢 者保護ネッ トワークに よる発見率	徘徊高齢者保護ネット ワークに提供された、徘 徊高齢者の捜索依頼件 数に対する発見割合	%	92.0	100	94.7	94.7%	徘徊高齢者の早期発見を目指 しているため、目標は全員発見 することである。 28年度の実績値は、19件の捜 索依頼のうち18件発見できたこ とによるもの。	100	A	B	B			D	D	認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合 に、警察署や市役所の関係課、地域コミュニティ協 議会などの団体等が互いに連携する「徘徊高齢者 保護ネットワーク」を活用し、より広域で徘徊高齢 者の情報を共有化することにより、当該高齢者の 早期発見に取り組んだ。平成28年度の連携中枢 都市圏域でのネットワーク利用は、1件であった。	【さぬき市】徘徊高齢者の保護についてネットワークを構築しているが、今後、ネットワ ークの活用について、協議していく必要がある。 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施している。 【三木町】実績がないため評価ができないが、取り組みの必要性は高いものと考えてい る。なお、圏域を超えての広域的な取り組みも想定している。 【綾川町】県事業（警察署含む）としてのネットワーク会議はあるが、広域事業として の会議は無い。

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）									連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
(ウ) 福祉	32 介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	794	804	775	96.4%	目標設定方法：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 実績の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	804	A					A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定した。 11月末に1市3町の連絡会を実施し、意見交換等の情報共有を図った。	【三木町】「介護認定審査会業務の事務委託に関する規約」に基づき、十分な取組が行われている。 【直島町】介護認定審査会業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。 【綾川町】介護認定審査会業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。
	33 自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	2	100.0%	例年通り年2回開催を継続。	2	A					A	A		・障害福祉施策についての周知を行った。 ・関係機関の連携強化及び相談支援の充実・強化を図るための研修等を行った。 ・専門部会等の運営を行った。 ・その他の相談支援充実・強化を図るための事業を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会が行う相談支援の充実、強化を図るための研修等について、体制も確保されており、十分な取組が行われている。 【直島町】自立支援協議会運営業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。
	34 障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	50	48	96.0%	年間最大50回の開催を継続。 H28年度は案件数が少ない回があり、開催を2回見送った。	50	A					A	A	A	・審査会を48回開催し、市と3町の審査について、引き続き連携した。 ・審査件数：高松市562件、三木町42件、直島町5件、綾川町40件	【三木町】審査会業務において、体制も確保されており、十分な取組が行われている。 【直島町】障害程度区分等審査会業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。 【綾川町】開催回数の確保ができることにより、安定したサービスの提供ができています。また事務の効率化ができており、貢献度が非常に大きい。
	35 ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	6,369	7,000	6,686	95.5%	平成27年度実績から目標を設定した。 この制度を利用せず、他の制度を利用したのか、目標値には達しなかった。しかし、平成27年度より利用者は増えている。	7,000	A	C				B	B		援助活動件数：6,686件 会員養成講座：年間で計3回開催、会員スキルアップ講座：年3回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：20・21号発行	【さぬき市】まかせて会員養成講座を高松市で受講し、さぬき市で登録した会員：1名 平成28年度においては広域連携に該当する利用はなかった。 【三木町】利用件数は大幅に増加しており、中でも、保育施設までのお迎えや子どもの習い事等の利用が多く、住民のニーズは高い。 しかし、会員登録数は微増であるため、更なる事業のPRが必要である。 【綾川町】利用が必要な保護者に対して、啓発をしているが、まかせて会員の登録はあるが、利用希望にそわないことがあったり、制度についての理解が少なかつたりすることがある、保護者にとって利用しやすい制度となるための、更なる工夫が必要と考える。また、まかせて会員の養成方法についても工夫が必要と考える。
(ウ) 福祉	36 移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	6,579	7,000	7,084	101.2%	ビジョン最終年度の目標値を前倒しで平成28年度目標値としている。直島町広報紙等による、移動図書館巡回日程等の周知効果が表れてきていると考えられる。	7,000	A					A		毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】毎月町内2箇所移動図書巡回事業を実施しており、当町は図書館がないことから、利用者から大変喜ばれている。	
	37 読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	242	120	95	79.2%	3回シリーズの講座の各定員の合計人数を目標値としている。これまで個別に実施していた絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、対面朗読ボランティアを対象に、H28年度より3回シリーズの講座に再編して開催したため、H27年度より参加者は減少した。	120	B	D	B	C	D	C	C	D	絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、対面朗読ボランティアなどの技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、これまで個別に実施していた講座を、H28年度より3回シリーズの講座に再編して実施し、計95名の参加があった。	【さぬき市】実施していない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】ボランティア講座のチラシを設置しているが、実績なし。 【三木町】機会は少なかつたが連携して、講座や研修会の開催ができた。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】情報通信の高度化により、本に対する興味関心が低下している現代、子どもたちの、本に触れる機会を創出することは、児童生徒の情報教育の観点からも大切である。
	38 帰国児童等支援事業	指導を行った件数／指導が必要な帰国児童等	帰国児童等への日本語指導等対応率	%	100	100	100	100.0%	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	100	A					D	D	近隣自治体と支援者情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。	【三木町】支援の実績がない。 【綾川町】実績がないものの、支援体制が整っている。	
	39 特別支援教育推進連携事業	相談訪問件数／相談希望校数	相談希望校等への相談訪問率	%	100	100	100	100.0%	障がいの種類が複雑になってきており、支援を適正に行う体制整備を行う必要があるなかで、希望した学校にはすべて対応できた。	100	A			C	D	D	D		高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を運営し、三木町と連携を図った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実施できていないので、基本的には評価できない。 【三木町】今後、地域連携推進委員会に東部養護学校関係者の参加も希望したい。 【綾川町】実績はないものの、支援体制が整っている。

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）										連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由					
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	連携市町					綾 川 町							
												さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町				直 島 町				
教育・文化・スポーツ (工)	40	こども未来館 学習体験事 業	こども未来 館学習参 加校数	こども未来館学習参加 校数	校	—	—	—	—	—	50	H29 年度 以降 実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	史跡・遺跡 の調査研究 及び発信	講座等参 加者数	圏域内の史跡・遺跡の 調査研究について、講座 等でその成果を紹介し、 情報発信を連携して行 う。その参加者数	人	3,674	3,000	5,338	177.9%	講座等を年間通じて実施したほ か、出前講座等で多くの人に遺 跡の調査研究の情報発信を行 う場面を設けたため。	6,500	A	C	A	C							一般向けの見学会及び講演会 60回実施 学校向けの見学会・出前講座 13回実施 企画展の開催 3回実施	【さぬき市】高松市歴史講座として津田古墳群の現地案内を行った。 【東かがわ市】圏域自治体にチラシを配布したことにより、予想以上の市外来訪者が あった。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。	
	42	高松市埋蔵 文化財セン ターの運営	施設利用 者数	埋蔵文化財の調査技 術、調査成果等に関す る情報交換を行うととも に、埋蔵文化財の情報 発信事業（展示等）の ための資料の相互貸借を 行う。その利用者数	人	6,216	3,000	4,431	147.7%	企画展や体験講座を実施して、 イベントに参加していただく機会を 多く設けた。	6,500	A	D	B	C	D				C	体験講座 26回実施 企画展の開催 2回実施	【さぬき市】実施していない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】調査成果物の交換については、従来実施しているが、県内関係部署間 で行っているものなので、中枢連携都市圏構想外のものである。 その他資料貸借等については実施していないため、評価できない 【綾川町】展示等の相互貸借は実施できなかったが、埋蔵文化財の調査技術・成果 等について情報提供があった。		
	43	中学校総合 体育大会等 の連携	中学校総 合体育大 会等にお ける実施 競技数	中学校総合体育大会・ 中学校新人体育大会に おける実施競技数に、中 学校駅伝競走大会を加 えた競技数	競技	18	18	18	100.0%	目標設定方法の理由：例年実 施している競技の大会を継続して 開催することにより、体力・運動能 力の向上や相互の友情を深めると ともに、教職員の体育指導の資質 を高めるなど、体育の充実発展と 心身ともに健全な児童生徒の育 成を図ることができる。 目標値に対する実績の理由：例 年どおりの競技数の大会を開催 し、部活動等での練習の成果を発 揮することができた。	18	A							A	B	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大 会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】競技力の向上が図られるなど、事業の成果が認められる。 【直島町】事業について一定の成果が認められる。		
	44	高松市屋島 競技場の活 用	屋島競技 場利用者 数（人）	屋島競技場の利用者数 （旧屋島陸上競技場 閉場前3年間の平均 値：62,827人）	人	—	—	—	—	—	120,000	H29 年度 以降 実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
45	地域密着型 トップスポ ーツチームの試 合観戦機会 等の提供	トップスポ ーツチーム試 合観戦者 数（人）	地域密着型トップスポ ーツ4チームのホームゲーム における観戦者数	人	119,384	135,900	118,500	87.2%	過去3ヶ年（24年度～26年 度）の実績（前年比）の平均 値を基に、算出している。 香川オリブガイナース（野 球）の試合数の減少及び一試 合平均観戦者数が前年を下 回ったことにより、目標値を大幅 に下回る結果となった。	179,200	B	D	B	A	B	D	B	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活 動している地域密着型トップスポーツチームの試合 観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調 整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】地域密着型トップスポーツチームを利用した、さぬき市向けのイベントは行ってい るが、他市町と連携して行ったイベントは無いため、広域連携しているとはいえない。 【東かがわ市】連携して事業を実施できたが、参加者が少なかった。 【土庄町】試合観戦及び観光・特産品ブースの提供により観光PRができた。 【小豆島町】高松港発着の観戦バスツアーは、会場まで交通手段が確保され、参加者に 大変好評だった。スポーツ少年団の子供たちを中心に、地元小豆島出身の選手への応援 がで大きく盛り上がった。 【三木町】試合観戦等の案内はしたものの要望がなかったため実施できていない 【直島町】プロスポーツ選手の試合観戦及び指導を受けることができる数少ない機会なの で、積極的に活用している。 【綾川町】競技力向上は、優れた競技者を見る、知ることから始まる。より質の高いスポーツ 試合を観戦することは、特定の種目だけではなく、あらゆるスポーツの普及、振興につながる ため有効であると考え。				

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）									連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由				
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町		
(オ) 地域振興	46	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム実践団体来場者数（協議会会員のみ）	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	170	172	168	97.7%	○H28年度の目標設定方法：平成27年度実績からの増加を目標とした。 ○目標値に対する実績の理由：目標人数には及ばなかったが、ほぼ前年並みの来場者数となった。	200	A		C	A	B			グリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】年々動員数が増えており、実施にあたり、目標としていた「食」を通じた交流、オリーブに親しむ機会の創出や情報のPRに成功しているといえる。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信をさらに行うとともに、高松市と近隣市町との連携強化が必要である。		
	47	獣害対策事業	二ホンザル被害の軽減（面積）	高松市鳥獣被害防止計画に基づく、二ホンザルの農作物への被害面積	ha	2.44	—	—	—	—	2.02	H29年度以降実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	48	産学官連携推進事業【再掲】																				
	49	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	464	478	413	86.4%	H28年度目標：各コミュニティセンターから460人土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	488	B		C	D				生涯学習コーディネーター養成講座を、年間10回実施し、5月からの9回について連携町である2町に対し参加を依頼し、7人の参加があった。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】イベント告知のみで、具体的な成果が把握できていないため、評価できない。		
	50	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	3,295	3,650	2,263	62.0%	過去の実績から目標を設定していたが、平成28年度においては、新センターへ移転する関係で、事前準備も含めて休館期間があったことから目標を達成することができなかった。	5,000	C		C	D		C	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 ・学習研修事業（全48回） ・男女が共に活躍できる社会づくり講座（6回） ・参画センター出前セミナー（15回）など	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】事業の実施はできていない。 【綾川町】相互に情報提供を行っている程度である。			
生活機能の強化に係る政策分野	51	災害時相互応援協定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	B	A	A	A	A	A	圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。	【さぬき市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであるが、相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【東かがわ市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであり、相互応援協定の必要性を考慮する必要がある。 【土庄町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【小豆島町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【三木町】大規模災害時に備え、圏域市町間で応援体制を築くことにより、効果的かつ効果的に物資・労力等の受入・提供が可能となった。 【直島町】さらなる協力体制の強化が必要である。 【綾川町】協定が締結できていないが、応援協定が締結できれば妥当性、有効性とも評価できる。		
	52	香川県消防相互応援協定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	B	A	A	A	A	A	消防相互応援体制を維持し、不足の事態に備えた。 実績なし。	【さぬき市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであるが、相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【東かがわ市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであり、相互応援協定の必要性を考慮する必要がある。 【土庄町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【小豆島町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【三木町】応援要請の方法や、応援隊派遣体制などが明記されたことにより、県内市町及び一部事務組合の相互応援体制に寄与した。 【直島町】さらなる協力体制の強化が必要である。 【綾川町】大規模災害等発生時には妥当性、有効性とも評価できる。		
(カ) 災害対策																						



連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）									連携市町評価							H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町	
圏域 全体 の 生 活 関 連 機 能 サ ー ビ ス の 向 上	53	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A					A	A	消火救難活動体制を維持し、緊急対応に備えた。 実績なし	【三木町】関係市町の消防機関が協定に基づき合同訓練を実施することにより、消火救難活動の強化に寄与した。 【綾川町】高松空港や圏域における航空機災害発生時には妥当性、有効性とも評価できる	
	54	消防業務の事務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A					A	A	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災：6件（平成28年暦年）	【三木町】消防活動の円滑化、迅速化に貢献し、地域防災に寄与した。 【綾川町】三木町・綾川町・高松市消防業務の医務委託に関する規約に基づき、事業が実施できている。	
	55	地域防災対策事業	圏域市町との防災行政無線等を活用した通信訓練を行う連携市町数	災害時の通信方法の確認のため、防災行政無線等を活用した通信訓練を行い、相互の応援要請や被害状況等の把握を行う。	自治体	0	1	1	100.0%	目標設定方法：圏域7市町と、災害時の通信方法の確認するため、計画的に対応自治体数を1自治体増やす。 実績の理由：直島町と相互の被害状況等の把握のために通信訓練を実施した。	7	A						B	直島町と防災行政無線を活用して、相互の被害状況等の把握するための通信訓練を実施し、操作方法等を確認することができた。	【直島町】圏域住民のために必要であるが、十分な成果はあがっていない。	
	56	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A						A	高松市は、綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物4,990 t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破碎）を行った。 また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰2,301 tを綾川町西分処分場へ搬出した。	【綾川町】綾川町一般廃棄物処理基本計画に基づいて処理を行っており妥当性、有効性ともに問題はない。	
	57	し尿処理に関する業務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B						A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。 処理実績 63,887kl (内訳) し尿 浄化槽汚泥 計 三木町 2,460kl 5,448kl 7,908kl 綾川町 1,409kl 3,645kl 5,054kl 高松市 12,851kl 38,074kl 50,925kl 計 16,720kl 47,167kl 63,887kl	【三木町】事業に係る体制も整備されており、十分な成果があると考えられる。 【綾川町】十分な成果があると考えられる。
	58	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,611	2,180	2,210	101.4%	H35年度の目標値を2,400人としており、毎年40人の増加を目指す。 環境学習講座参加者数は年度間の差異が大きく、H28年度は前年度の実績を下回ったが、受講者を圏域全体から募集した結果、目標値を上回る人数の参加があった。	2,400	A	D	B	C	D	D	B	D	環境学習講座の参加応募条件を「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内に在住、又は通勤・通学する方」として、広報誌やホームページで参加者を募った。 【さぬき市】取組実績がないため、まずは連携市町との情報交換の場を設けるなどの必要があると思われる。 【東かがわ市】ごみの減量化の出前講座や緑のカーテンの広報を行ったが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組みがないため評価なし 【直島町】自然探検は目標どおり達成でき、一定の成果があった。定員制ということもあり、参加者の大半を町内児童がしめたため、中心市での周知・啓発による圏域内の児童の参加についてはわずかとなった。 【綾川町】高松市では取り組みを進めているが実績がない。	

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）									連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	連携市町評価								
												さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
(キ) 環境	59 環境負荷の少ない自動車の普及促進	市内における電気自動車保有台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの市民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、市が設置した急速充電器の運営を行うとともに、市内の充電設備の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	211	305	258	84.6%	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加率が今後も継続するものとして目標値を算出 達成率は目標値の85%で、保有台数増加率は全国的にも伸び悩み傾向にあるが、保有台数は毎年着実に増加している。	1,665	B	D	B	C	D	D	B	D	公用車に電気自動車を1台導入し（全11台）、車体をラッピングして市内を走らせ、走行実績に伴う温室効果ガス削減量の情報をホームページで発信した（ホームページ更新12回）。また、市が設置した市内3か所にある道の駅の急速充電器の情報発信や、環境展及びストップ！地球温暖化展でのパネル展示を行い、電気自動車の普及を図った。	【さぬき市】取組実績がないため、まずは連携市町との情報交換の場を設けるなどの必要があると思われる。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】環境負荷の少ない自動車が少しずつ増えてきているが、もっと住民意識を高め、環境負荷軽減につなげていく必要がある。 【小豆島町】求められる社会的ニーズは存在するものの、具体的な連携行動が成されなかった。 【三木町】取組みがないため評価なし 【直島町】電気自動車を展示することで環境負荷の少ない自動車の周知に一定の効果があった。しかし、なおしま環境フェスタ以外で周知する機会が無いため検討が必要である。 【綾川町】実績がない。
	60 小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量（トン）	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	18	18	15	83.3%	高松市の目標値（H35年度8トン）及び連携市町の目標値の合計	20	D	B	B	C	C	B	A	A	・市内22か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を実施した。 ・「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」を開催し、事業結果の検証と今後の取り組みを報告した。 ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」実施に向け、都市鉱山メダル連携委員会への入会手続き等を行った。	【さぬき市】総回収量は前年度を上回ったものの、小型家電等リサイクルに対する市民の認知度をさらに向上させる必要がある。 【東かがわ市】担当者会議で情報交換しているが、自治体ごとの実情が異なるため、相互連携には至っていない。 【土庄町】少しずつ回収量が増えているが、さらなる回収量の増加が必要である。 【小豆島町】それぞれの連携市町の状況は共有されているが、圏域内の具体的連携行動については、実績がなく本構想の主旨に沿った中核市と連携市町の役割分担の見直しが必要と考える。 【三木町】回収は増えつつあり、認知率は向上していると思われる。しかし、依然として対象品目以外の品目も多数回収されており、更なる周知が必要である。 【直島町】町内の小型家電は全てクリーンセンターへ持ち込まれ、そこでピックアップ回収している。 【綾川町】小型家電のリサイクルに役立っている。
	61 不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のクリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	7,122	6,600	6,800	103.0%	28年度の実績の約2割増しの8,000人に加え、最終年度までにクリーン作戦の活動回数を増やすよう検討し、さらに500人の参加者数の増加を目標とした。（参考：25年度5,869人、26年度6,342人）	8,500	A	C	A	B	A	B	B	A	毎年行っている7か所のクリーン作戦のうち、三木町との出会いふれあいクリーン作戦が、雨天中止となったが、他の6か所のクリーン作戦は予定通り実施した。また、3年に1度実施している瀬戸内国際芸術祭に合わせ、サンポートでおもてなしクリーン作戦を実施した。	【さぬき市】参加者数は前年並みである。毎年ある程度の不法投棄の報告があるので、不法投棄件数を減少させていくために、さらなる環境美化への意識啓発を行う必要がある。 【東かがわ市】本市独自の活動となっており、相互連携には至っていない。 【土庄町】継続して清掃活動できている点は評価できる。しかしながら、依然として不法投棄はあるため、今後も継続して事業を行う必要がある。 【小豆島町】事業目標に掲げる、クリーン作戦の実施等は実施されており、目標は達成されているものと解されるが、圏域住民の目が向けられるよう、啓発事業には真新しさも必要であり、圏域内での新規施策立案に向けた共同研究の機会求められていると考える。 【三木町】「高松・三木出会いふれあいクリーン作戦」については、一定の参加者もあって定着しており、開催場所を何年か毎に変更しながら、不法投棄防止を周知していく。 【直島町】毎年恒例で行っている町内一斉清掃“ごみ0クリーンデー”が雨天のため、中止になった。 【綾川町】環境美化と不法投棄撲滅の意識啓発に役立っている。
(ア) 地域公共交通	62 ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】																			
	63 コミバス等へのIruCa導入事業	コミバス等へのIruCa導入事業に参加した自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」による各種割引サービスの適用を受けられることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	1	1	1	100.0%	28年度は、連携自治体に対し、IruCaを利用したサービスの拡充とその有効性等について検討する段階と位置づけ、コミバス等へのIruCa導入については、次年度以降と考案目標を設定した。	4	A	D	C	D	D	A			連携自治体に対し、事業の有効性等について周知し参加を呼び掛けた。 綾川町が参加に理解を示し、IruCaを利用したサービスの拡充後の導入について、前向きに検討してくれることとなった。	【さぬき市】取組自体の妥当性や有効性はあると思われるが、実施していない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】ことごととの乗り継ぎ等に係る割引サービスシステムの導入については、費用負担に部分等で課題があるため。 【三木町】取組みがないため評価なし 【綾川町】事業実施に向けて十分協議ができている。
	64 橋りょう改築修繕事業																		橋りょう長寿命化修繕計画について、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。	【さぬき市】さぬき市の行政区域界にある全3橋について、相手方の三木町と連携を行い、点検を実施することができたため。 【東かがわ市】橋りょう長寿命化修繕計画に基づき計画的な維持管理ができているが、圏域の連携には至っていない。 【土庄町】今後、案件があれば高松市と協議等を行い、情報共有等連携を図っていく。 【小豆島町】実績なしのため。 【三木町】今後、行政区域界の橋梁修繕について、情報共有等連携を図る。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】行政区域界の橋梁修繕について、情報共有等重要である。（通行規制等）
(イ) 道路等の交通インフラの整備・維持																				

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）										連携市町評価						H 28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度 H28年度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町	
イ 結びつき やネット ワークの 強化に 係る政 策分野	65	道路新設改 良事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	A	C	B	C	行政区域界での生活道路（市道）の新設改良 工事について、該当がなかった。	【さぬき市】行政区域界の道路拡幅事業について、情報共有等重要であるため。 【土庄町】今後、案件があれば高松市と協議等を行い、情報共有等連携を図ってい く。 【三木町】高松市内の道路の新設改良事業の情報提供は特になし。また、行政区境 の事業も特になし。 【綾川町】行政区域界の道路拡幅事業について、情報共有等重要である。			
	66	ブランド農産 物育成支援 事業【再掲】																			
	67	自然体験等 を通じた住 民の交流の 促進	ホームペー ジアクセス数	イベント情報を掲載する 瀬戸・高松広域連携中 枢都市圏のホームペー ジのアクセス数	件	—	—	—	—	—	—	今後アクセ ス数の状況 をみて設定	A	B	B	C	B	D	D	イベント情報をホームページで発信するためのポータル サイトを構築し、29年度より運用を開始した。	【さぬき市】雨滝自然科学館において夏休み期間に企画展や親子教室を実施し、県 内の小・中学校にチラシを配布して周知している。 【東かがわ市】市内団体の独自の取組を支援しているが、圏域内での連携が十分では なかった。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】自然体験を通じてその土地の文化等も学ぶことができ、交流できる。 【三木町】取組みがないため評価なし 【綾川町】自然体験等を含んだイベントの構築及び学校への働きかけを行う。
ウ 圏域マネジメント能力の 強化に係る政策分野	68	移住・交流 促進事業	圏域市町 全体での社 会増減 （単位： 人）	圏域内の市町が協力・ 連携して、移住・交流を 促進することにより、圏域 への人口流入に寄与す ることができるため。	人	-134	619	472	76.3%	過去の実績等を踏まえて目標 を設定していたが、平成28年 においては、圏域としての取組を 開始した段階ということなどから、 圏域内の約半数の市町で社会 減となる結果となり、目標を達成 することができなかった。	1,850	A	D	B	B	A	B	C	B	香川県の補助金を活用して、各市町で移住者を 対象とする民間賃貸住宅家賃等の補助事業を 実施した。 また、圏域独自の取組について、担当者間での 協議を開始した。	【さぬき市】実施していない。 【東かがわ市】移住者への金銭的支援や東京・大阪での移住フェア、東讃地区での移 住者交流会など実施しているが、圏域内での連携が十分ではなかった。 【土庄町】移住促進の効果が出ている。 【小豆島町】連携して取り組むことで、地域全体の魅力を高めることができる。フェア等 合同で実施することで集客力を高めることができる。 【三木町】引き続き、移住フェアへの参加・移住者交流会へ参加し、圏域内のPR活動 を行う。 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みがない。 【綾川町】各市町での取組が主になっているので更なる連携が必要である。
	69	人材育成事 業、合同研 修等の実施	合同研修の 開催回数	合同研修の機会を増やし、 圏域自治体職員の 能力向上及び市町域を またいだ交流や連携を図 るため。	回	5	5	6	120%	人材の育成・交流及び圏域のマ ネジメント能力の向上を図ること ができる研修を合同で実施する。 H28年度については、教養講演 会に加え、特別教養講演会を開 催したことに伴い、目標値を上 回った。	6	A	C	A	B	A	A	B	A	業務改善能力や実践的政策形成能力を高める ための研修を始め、行政環境の変化に対応できる 幅広い視野を養うための教養講演会を合同で 実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図 った。 【開催回数】 ・業務改善能力向上研修 1回 ・政策形成能力向上研修 1回 ・OJT研修 1回 ・政策評価能力向上研修 1回 ・教養講演会 2回	【さぬき市】各研修に2～4日程度要し、参加者の負担もあり、全ての研修には参加で きていない。今後も研修への参加周知が必要である。 【東かがわ市】職員の能力、意識向上や交流のきっかけとなった。 【土庄町】職員の能力・意識向上が図れ、交流のきっかけにもなった。 【小豆島町】職員の能力向上につながり有意義である。受講生の感想も好評である。 【三木町】他市町職員との交流を深め、職員のマネジメント能力の向上につながっている。 【直島町】具体的な内容に触れることができ、参考になった。 【綾川町】合同研修により職員の能力向上等の取組がされている。
	70	地域コミュニ ティ人材養 成事業	講演会・講 習会の参加 者数	地域のリーダー養成を目的 として実施している人 材養成事業の参加者が 増加することで、地域コ ミュニティの自立と活性化 が図られる。	人	322	360	310	86.1%	従来より地域自治組織関係者 等を対象に実施していた当事業 を、平成28年度よりビジョン取 組事業と位置付けたことから、前 年度実績値に各市町における参加 見込み数を加算したもの。	360	B	C	B	C	D	B	B	B	平成28年度高松市地域コミュニティ人材養成事 業 （1）日時 平成29年2月18日（土） （2）場所 高松テルサ（510人収容可能） （3）講師 AN-BAI 代表 加留部貴行 氏 （4）参加者310名（うち圏域市町参加者 11名）	【さぬき市】開催回数については、前年と同様であるが、出席者数については、前年を 下回った。開催曜日、時間等検討を要する。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】先進地事例等の報告により、地域コミュニティ活動等に関する方の意識を高 められる点において一定の評価ができる。 【直島町】具体的な内容に触れることができ、参考になった。 【綾川町】事業を十分に活用できていないが人材養成の観点から有効であると考えている。
71	公共施設の 共同利用、 共同設置に 関する調査・ 研究事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	県レベルで実施予定	県レベルで実施予定

連携協約項目		No.	事業名	委員等意見	連携中枢都市の現状と連携事業としての今後の見通し等	担当課
圏域全体の経済成長のけん引	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	1	ブランド農産物育成支援事業 (資料2 No.3)	圏域内の特産農産物のPRのみならず、 <b>ブランド農産物の開発・生産に新たに取り組もうとする農業者の支援事業が必要ではないか</b> と思います。また、たかまつ食と農のフェスタの開催だけでなく、 <b>四国四県食と農のフェスタを高松で開催し、県外から、さらには四国外からも人を呼び込みPRする積極的な支援事業を期待します。</b>	ブランド農産物の開発・生産に新たに取り組もうとする農業者に対して、 <b>香川県では、香川6次産業化促進整備事業や6次産業化等高付加価値化事業により支援されております。</b> また、高松市では、 <b>独自に平成29年度から高松産ごじまん品6次産業化等支援事業を創設して支援しているところ</b> です。 特産農産物のPRについては、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内の農業者の方々等の出展を頂き、たかまつ食と農のフェスタを開催しておりますが、 <b>四国四県食と農のフェスタの開催については、県段階の取組みになると思われますので、県の担当部局への提案を検討してまいります。</b>	農林水産課
	戦略的な観光施策	2	国内外観光客向け情報発信事業 (資料2 No.7)	高松市旅ネットを検索すると、体験型観光に関する情報がなく、旅の楽しみ方が多様化していることを考えると、うどん作り、和三宝作り、竹細工、漆、さぬき提灯作りなどの <b>体験型の観光客向け情報発信も必要ではないか</b> と思います。実際、塩江のNPOと交流し、茶摘みやうどん作りを体験したアメリカのグループから、その体験が最高の思い出になったと聞きました。	現状として、体験型観光の提供者は民間事業者が多く、「高松旅ネット」の管理運営主体が行政組織であるため、民間の情報を発信することは、公平性の面から課題が残るものと存じます。 また、「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイト」においても、現在のところ、情報発信者を「行政・準行政関係者」に限定していますが、 <b>今後は、体験型観光の情報発信の仕組みについて、検討してまいります。</b>	観光交流課
	戦略的な観光施策	3	・国内誘客促進事業 ・海外誘客促進事業 ・国内外観光客向け情報発信事業 ・新たな観光プランの企画、販売等 (資料2 No.4,6,7,9)	観光施策のKPIとして香川県内の外国人宿泊者数、市内の主な観光施設等利用者数となっているけれども、広域連携都市圏事業の取り組みとしては、 <b>圏域内の情報を把握すること、それをKPIとして表すことが妥当ではないか</b> と思います。	<b>観光施策は、「経済成長のけん引」の分野における施策でありますことから、基本的には連携中枢都市である高松市の実績値をKPIとして設定しているところ</b> です。ただし、高松市でデータのとれない、外国人宿泊者数については、香川県内の実績値をKPIとして設定しているものでございます。	観光交流課
高次都市機能の集積・強化	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	4	ICカードを利用した公共交通利用促進事業 (資料2 No.17)	現在ICカードの利用により電車・バスの乗り継ぎ割引制度やゴールドイルカの運賃半額制度の導入で、高松市の公共交通利用者が増加していることを考えると、利用促進として有効な施策だと思えます。併せて、安心して公共交通を利用するためには、 <b>圏域内の移動しやすい公共交通網の整備と、乗り換え（電車とバス、JRとバス、JRと電車）についての情報提供が必要だ</b> と思えますので、是非、連携市町との連携事業として取り組んでいただければと思います。	○ <b>圏域内の移動しやすい公共交通網の整備について</b> 本市では、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指し、交通結節拠点整備とバス路線再編による、持続可能な公共交通ネットワークの構築を進めております。 <b>鉄道を基軸として、コミュニティバスなどのネットワーク等を構築していく考え方につきましては、圏域内の関係市町とも情報共有を図るとともに、その意向等について確認してまいります。</b> ○ <b>乗り換え（電車とバス、JRとバス、JRと電車）についての情報提供について</b> 御提案の趣旨は、公共交通の利用促進の観点から有意義な施策であると考えますが、 <b>一定の経費等も要しますことから、その効果を含め関係市町や交通事業者からも意見を聴きたいと考えています。</b> 一方、こうした取組は、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の枠組にとどまるものでないため、 <b>香川県に要望していくことも有効かつ必要であると存じます。</b>	交通政策課
	高等教育・研究開発の環境整備	5	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成 (資料2 No.18)	少子高齢、人口減少がこれからも加速度的に続く中、生まれ育った我々が「どんなまちであって欲しい」のかを考えさせるのは、やはり中学生のころから必要なのではないでしょうか、なので「 <b>将来の圏域を担うリーダーの育成</b> 」は中学校から始めるべきではないのでしょうか。	御提案にもありましたとおり、中学生の頃から本市への愛着を深めるとともに、自分の住むまちの理想像を考えることは大変重要と考えております。 本市では、 <b>将来を支える若者の柔軟なアイデアを本市の政策に取り入れることを目的に、本年度新たな取組として、政策コンテスト「未来高松市2017」を開催しております。</b> このコンテストにおいては、出場資格を中学生から39歳以下の者としており、 <b>本年度参加10チームの内、実に5チームは中学生のチームでございました。</b> 今後もコンテストの開催等を通じて、中学生を含む若者に本市の理想像を考えていただくとともに、その意見を本市の政策に活かしてまいりたいと存じます。	政策課

連携協約項目		No.	事業名	委員等意見	連携中枢都市の現状と連携事業としての今後の見通し等	担当課
圏域全体の生活関連機能の強化に係るサービスの向上	地域振興	6	獣害対策事業 (資料2 No.47)	<p>獣害対策事業としては、<b>二ホンザル対策だけでは不十分</b>だと思います。中山間地域は高齢化が進み、里山も耕作地も荒廃が進んでいます。獣ができるだけ人里に近づかないようにするためには、<b>荒れた里山と中山間地域の維持・管理を連携して進める必要がある</b>のではないかと考えます。</p>	<p>イノシシ等の獣害対策においては、環境整備（餌を残さない農地の管理）や防護柵等の設置が有効であり、国・県及び市町の助成事業により防護柵等の設置を支援しております。<b>今回、二ホンザルについては、高松市と三木町の境に加害個体群を形成していることから、相互に連携して効果的な捕獲箱の設置等に取り組むものです。</b></p> <p><b>中山間地域の維持・管理については、中山間地域等直接支払制度により、集落協定に基づく農地の保全や周辺林地の下草刈等に対する支援を実施しておりますので、今後、隣接市町との連携についても検討してまいりたいと存じます。</b></p>	農林水産課
	災害対策	7	地域防災対策事業 (資料2 No.55)	<p>広域的避難援助訓練も必要ではないかと思えます。実際に災害が起きた時の、避難者に対する援助体制、援助を受ける側の体制、障害者や外国人への対応など、<b>連携市町との合同防災避難訓練と研修を普段から行っておくことが必要ではないか</b>と考えます。</p>	<p>市町が単独で応急対策等の実施が困難になるような大規模災害が発生した場合には、周辺自治体との連携が非常に重要になると認識しています。</p> <p>現状、連携市町間での合同防災訓練や研修は実施していないものの、<b>平成28年度には、香川県防災行政無線を活用した通信訓練を直島町との間で実施したところ</b>です。</p> <p><b>今後、他の連携市町についても通信訓練を実施するだけでなく、合同防災訓練の実施や担当職員に対する合同研修の開催を検討してまいります。</b></p>	消防局 総務課 危機管理課
その他		8	ひきこもりサポーター派遣事業について	<p>高松市は四国の市町では初めて「ひきこもりサポーター派遣事業」を始められたと新聞で読みました。その成果実績なども知りたいと思っていたので、できるならば、<b>連携中枢都市圏にも、合同研修や人材養成のノウハウを共有して頂きたい</b>と思っています。</p>	<p>「高松市ひきこもりサポーター派遣事業」は、平成27年9月から開始しております。県の「ひきこもりサポーター養成研修」を修了して県のサポーターとして登録された方の中から、本市で活動を希望された13人の方を委嘱して、ひきこもりサポーターとして活動していただいております。現在、事例毎の検討や年2回の報告会などを通して、<b>サポーターの皆さんと共に試行錯誤しながら事業を進めているところ</b>です。実績としましては、平成27年度は2事例6回、平成28年度は5事例31回でございます。</p> <p><b>合同研修や人材養成のノウハウの共有につきましては、現在香川県ひきこもり地域支援センターや香川県障害福祉課、またKHJ香川県オリーブの会等と連携しながら事業を進めており、ご依頼の内容やテーマにより対応を検討させていただきたいと存じます。</b></p> <p>また、今年7月からは香川県でも「香川県ひきこもりサポーター活用事業」が実施されていることから、これらの動向と整合性を図りながら、事業展開していきたいと考えております。</p>	保健センター
その他		9	火葬場の使用について	<p>(直島町意見)</p> <p>現在直島町に住所のある方が高松市内の病院等で死亡し、高松市内で葬儀を行う場合に、<b>火葬場の使用を断られる場合がある。</b></p> <p>親族等が高松市の住民であることなどが使用に際して要件となっていると思われるが、こうした火葬場を利用できない場合は三木・長尾葬祭組合が運営している「しずかの里」まで行って火葬してもらったと聞いている。「しずかの里」は高松市内からは離れているため、時間が非常にかかり困ったとも聞いている。</p> <p><b>遺族が高松市内の火葬場で火葬を希望する場合は本人及び親族の住所等にかかわらず火葬場の利用ができるように対応してもらいたい。</b></p>	<p>高松市には、斎場公園、牟礼斎場、庵治斎場、やすらぎ苑の4斎場があり、このうち<b>斎場公園、牟礼斎場、庵治斎場については、直島など島しょ部居住の方が高松市の医療機関でお亡くなりになった場合、火葬場の使用は可能となっております。</b></p> <p><b>また、やすらぎ苑におきましては、島しょ部出身の方が単身者であり、かつ、喪主が旧3町（香川、香南、塩江）の方である場合に火葬場の使用は可能となっております。</b></p> <p>上記に該当する場合で、火葬場の御利用を希望される時は、高松市斎場公園までお問い合わせください。</p>	市民やすらぎ課

連携協約項目	No.	事業名	委員等意見	連携中枢都市の現状と連携事業としての今後の見通し等	担当課
その他	10	<p>〔外からの視点で地域おこし〕</p> <p>〔個々の対応からトータルな地域づくり〕</p>	<p>地方の自立が求められる時代にあつて、地域の独自性を確立するためには、他の地域と比較し、幅広い視点で考えていくことが求められる。そのときに<b>外からの視点がある</b>ことで、住民自らが地域の問題に気づき、取り組む方向に進めることになる。</p> <p><b>「移住・交流希望者」の存在は、域外の人や企業もつなぎ、それぞれの地域が有する地域資源の魅力を磨くうえで、重要な役割を果たす。地域おこしに一役買う循環を創り出すことで、地域の資源を効果的に活用した観光施策（誘客）を展開する。</b></p> <p>定住人口や転入は、都市基盤、公共交通、教育力、地域医療など様々な視点からの住民の総合評価の結果であり、特定の施策を講じることによって短期的な効果を期待することは困難である。制度の力を借りて「一本勝ち」を期待する時代でなく、息の長い取り組みをするしかない。成果の指標だけでなく、<b>圏域全体をトータルとしてとらえ、</b>親しみやすい景観、環境など自らのふるさとを実感できる持続的な地域づくりが大切である。</p> <p>圏域の自立的成長を促す観点からは、圏域を牽引する人材の育成が特に重要であり、<b>市町の枠を超えた圏域全体という広い視点からの発想や思考が求められる。</b>近くにいながら、それぞれが持つ課題や魅力など、お互いのことをあまりよく知らない現実がある。連携を実現するためには、いわゆる「役所的」と言われるような従来の枠や考え方にとらわれず、一方では、圏域内の現場を回り、圏域全体の実情を把握しておくことが必要であり、他方では圏域を超えて有益な情報や知識を求められる人脈（産業界や金融機関、NPO、大学など）を築いておく必要がある。<b>違いを学びあうことで新しい発見につながり、大きな「地方知」が生まれ、新たなビジネスがつくられていく。</b></p>	<p>御指摘のとおり、各地域が持続可能なまちづくりを進めていくためには、従来から市民の方に加えて、新しい視点の吸収・反映や外部からの人材の参画といったことも重要であり、そのためにも大都市圏等からの移住者を呼び込む施策の必要性が高まっていると考えております。</p> <p>このようなことから、<b>現在、本市への移住・交流を促進するため、今年度は、新たに設置した、市民や企業等からなる「たかまつ移住応援隊」による、市民目線での移住に関する情報発信に取り組み始めたほか、「高松市移住ナビ」のリニューアル、移住希望者向けの移住体験ツアーや首都圏での交流会の開催などを予定しております。</b></p> <p>特に、「たかまつ移住応援隊」については、市民や企業などのほか、市内44地域コミュニティ協議会のうち、現在4つの協議会に参加していただいております。地域活動に関する情報発信や相談対応を通じて、移住希望者が移住後に地域活動へスムーズに参加・参画できるよう、サポート活動に取り組んでいます。</p> <p>また、移住者の増加を地域の活性化につなげるためには、移住者の移住に伴う不安や不満を解消し、安心して活躍できるようにすることが重要であると考えられることから、去る7月22日には、本市への移住（転入）5年以内の方を対象とした「市内移住者交流会」を開催し、移住者と「たかまつ移住応援隊」や本市職員とが交流を行い、移住者のネットワークづくりや移住に伴う不安等の解消を図ってきたところです。</p> <p>今後も、これらの取組を通じて、大都市圏を中心とする県外からの移住者を増やし、かつ、移住者が地域で仕事や地域活動等で活躍する受け皿づくりを進めていくことにより、地域社会や地域経済の活性化に寄与してまいりたいと存じます。</p> <p>なお、これらの取組については、取り組み始めたばかりの事業が多いことから、<b>まずは本市単独での実施となっておりますが、今後、可能なものから、連携中枢都市圏としての取組とすることを検討・協議するとともに、随時、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトを活用した情報発信にも努めてまいりたいと存じます。</b></p>	政策課